

神居まちづくり推進協議会 会議録 令和5年度第1回

会議概要	
日時	令和5年5月30日(火曜日)午後6時50分から午後7時35分まで
場所	神居公民館大会議室
出席者	委員10名(正副会長以外は五十音順) 佐々木会長, 小平副会長, 青木委員, 赤間委員, 荒木関委員, 大河委員, 大高委員, 永田委員, 三本委員, 諸澤委員 (欠席者 浅野委員, 榆委員, 松浦委員, 美浪委員) 事務局 神居支所 小松支所長, 成田副支所長, 伊藤市民係主査
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 神居地域支え合い事業 実施報告書・収支決算書
	資料2 忠和地区防災コミュニティ事業 実施報告書・収支決算書
	資料3 逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト事業 実施報告書・収支決算書
	資料4 神居まちづくり推進プログラム(R5.3.31改訂)
	資料5 神居まちづくり推進プログラム「市への要望・地域からの提案」に対する本市の考え方
資料6 地域で使える補助制度～地域まちづくり推進事業補助金・負担金	

1 開会

事務局から, 欠席者の報告, 配付資料の確認を行った。

2 協議事項

(1) 神居地域のまちづくりの検討と推進について

ア 令和4年度神居まちづくり推進事業について

資料1「神居地域支え合い事業 実施報告書・収支決算書」、資料2「忠和地区防災コミュニティ事業 実施報告書・収支決算書」、及び資料3「逃げ遅れゼロの地域づくりプロジェクト事業 実施報告書・収支決算書」を基に、令和4年度事業について、各実行委員会の委員から報告があった。

3事業とも、各委員から個別質問等はなかった。

イ 神居まちづくり推進プログラムについて

資料4を基に、事務局から「5 過去の取組」に令和元年度に実施した5事業を追加で掲載したことを委員に報告した。

また、資料5にある「市への要望・地域からの提案」に対する本市の考え方について、令和4年度に担当課から回答があったこと、その回答を踏まえ、地域として引き続き要望する事項や見直しする事項の検討をお願いしたいと事務局から説明があり、会長から今年度の事業に併せて、要望事項等についても検討していくと提案があり、委員の了承を得た。

ウ 令和5年度神居まちづくり推進事業について

資料6を基に、令和5年度から地域で使える補助制度が変更になったこと、また、神居地域の補助金の上限額は40万円であると事務局から説明があった。

事務局からの説明後、会長を中心として令和5年度神居まちづくり推進事業についての意見交換が行われ、次回会議までに各委員からの事業提案を集約し、その内容を協議し決定することとした。

各委員等の主な発言概要は、次のとおり。

(会長) 人が集まる機会が減った。元気になる事業を、人数に関わらず実施できることから始めることが必要だ。

(委員) 過年度に実施した事業を、現状に見合った予算や手法で実施してはどうか。

(委員) 青少年事業は、神居地域全域を対象として実施した事業もある。また、未就学児も保護者や兄弟と一緒に参加していた。

(委員) 町内会に加入していない世帯の参加や周知はどのようにしたらいいのか。

(委員) 小中学校を經由して地域に周知してきた。町内会加入の状況は関係なく、地域の子は地域で育むという理念の元に実施してきた。参加しやすい方法をその都度考えるのがいいのではないか。

(委員) 市民委員会として6地域ある。前例にとらわれず、それぞれの地域から新たな意見を出すことも必要ではないか。

(委員) 複数の地域が連携して事業を実施する方法も検討してはどうか。

(会長) 補助金の申請期間は限定されているのか。

(事務局) 随時申請可能である。

(委員) 地域支え合い事業としては、昨年まで実施ができなかった地域食堂を重点的に実施したいと考えている。

(委員) 青少年事業については、子どもたちに何か楽しいことがあるといいなと思っているので、予算にこだわりはない。

(会長) 地域の活性化のために、住民が何を望んでいるのか、魅力的な元気になるメニューを考えていきたい。

(2) その他

事務局から、次の2点について説明があった。

- ・各委員に事業実施計画案の様式を送付し、集約する。
- ・次回開催について、6月下旬で日程調整する。

3 閉会